

ウガンダ根っ子通信 # 2

～ウガンダの教育事情～

ウガンダの小学校は改善すべき点がたくさん！！

問題点①・・・1クラスの人数

日本で教師をしていた時の1クラスの人数は30人前後でした。今現在は80人～90人のクラスを指導しています。全員に発表の機会を与えることは無理に等しく、理解しているのか授業中に確認する事が出来ません。

問題点②・・・勉強の必要性

子供達の中にはお金の問題で中学校以降の進学をすでに諦めている子供が多くいます。そういった子供達は本当に最低限の勉強しかせず、勉強の必要性を感じていません。

問題点③・・・勉強道具

ウガンダの田舎に住む子供達は貧しい家庭が多く、学費を払うことで勉強道具を買えずに授業中聞いているだけの子供が目立ちます。また、日本のように教科書は無料ではない為、誰一人教科書を持っていません。教師は問題を全て黒板に書くため、子供達は写すことで必死になり考える時間はほとんどありません。

ウガンダの教育システム 7・4・2・4制

義務教育の定めはありません。

UPE(Universal Primary Education): 1学年～7学年 毎年進級試験があり、テストの点数が悪いと教師が判断すると進級することが許されません。7学年は卒業前に国家試験があり、算数・国語・社会・英語の4教科全て50%以上の正答率が求められます。1教科でも50%以下の場合は卒業出来ず、7学年をやり直します。1学年への進学率は約70%ですが、5学年への進学率は約30%まで下がります。

小学校を卒業するとUSE (Universal Secondary Education) : 前期中等教育1学年～4学年まであり、小学校と同じように進級試験と卒業試験を合格すると「O' Level」という資格をもらい、技術学校や職業訓練校への進学が許されます。小学校教師を目指すウガンダ人は「O' Level」の後に教員養成学校へ入学します。大学への進学を目指すウガンダ人は後期中等教育5学年～6学年を卒業し「A' Level」の資格を取得する必要があります。

私に対する要請内容

私に対するウガンダ政府からの要請内容は3つあります。

①算数における、授業の質の向上

小学校の算数の内容が定着していないまま、中学校へ進学をする子供が多く、中学校へ進学できても授業についていく事が出来ない子供が大勢います。その結果、留年や退学という結果につながっています。少しでも多くの子供達に算数の面白さを伝え、最低限の学力の定着を目標に授業を行っています。

②体育の指導者育成

ウガンダの小学校では2004年から体育が必須科目となっていますが、小学校卒業試験には関係なく、多くの小学校で実施されていません。体育は運動を通して子供達の心の成長に働きかける大切な教科である為ウガンダ政府も指導を呼びかけているのですが、指導方法・内容が定かになっていません。私は体育の授業を行いながら、ウガンダ人の教師と体育の必要性や授業内容を一緒に考えています。

③スポーツの指導

スポーツの指導とあるのですが、道具が何もありません。ボールもありません。そこで、ビニール袋にゴミを入れて丸めた物をボールとして使ったり、ロープをバナナの皮で作って大縄をしたり、山に行って竹を取ってきてバトンの代わりにしたりと工夫しながら出来る範囲で様々なスポーツに触れる機会をつくっています。

ウガンダの詳しい情報を毎週更新しています。良かったらご覧になってください。

検索 → ウガンダ根っ子通信

URL → <http://blog.livedoor.jp/naoki81702/>

次回はウガンダの食べ物を紹介します！

